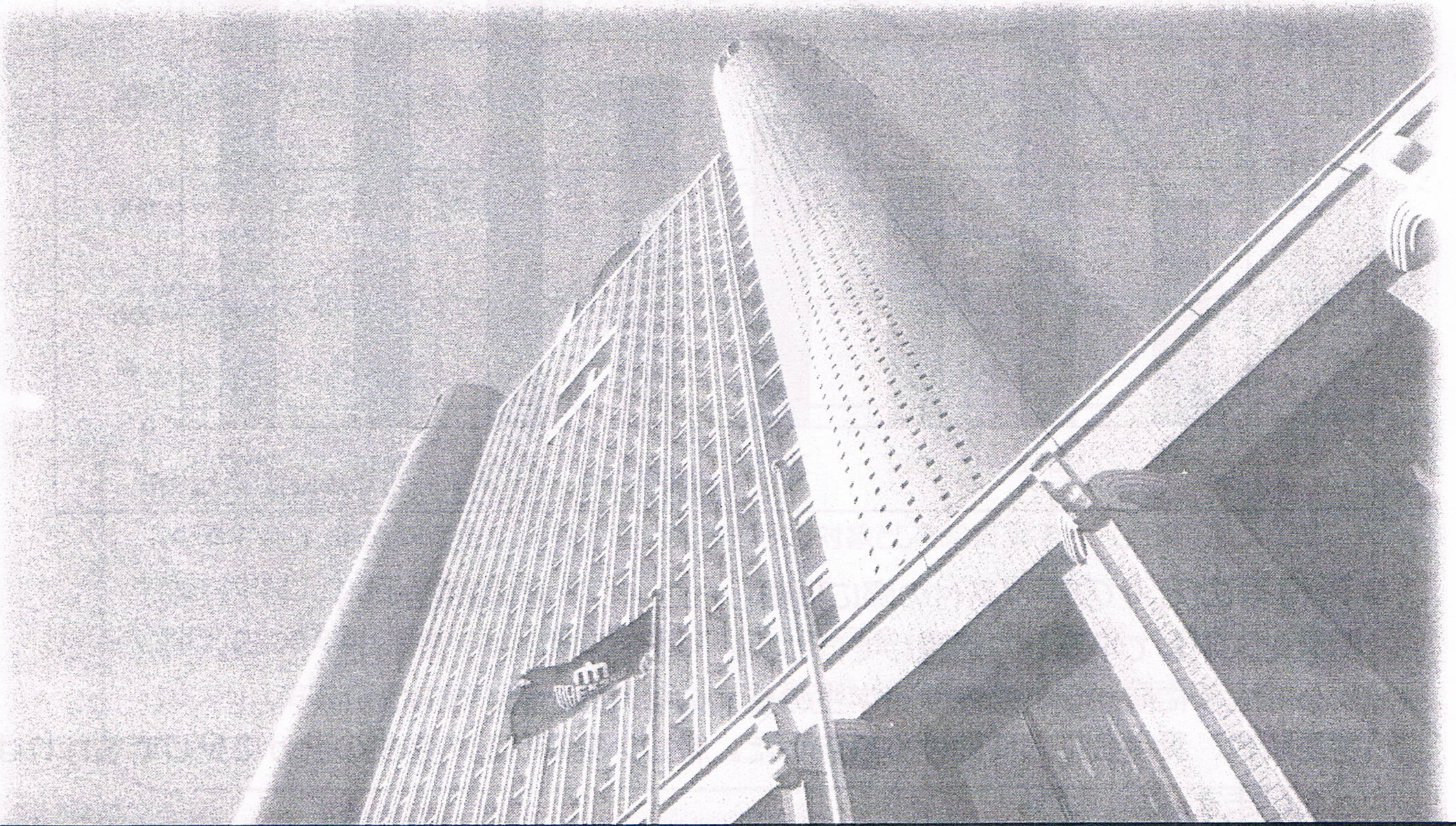


明治大学未来サポーター給費奨学生

感謝のことば

2017 (抜粋版)

M
SUPPORTER



■ 2018年度未来サポーター給費奨学生採用結果

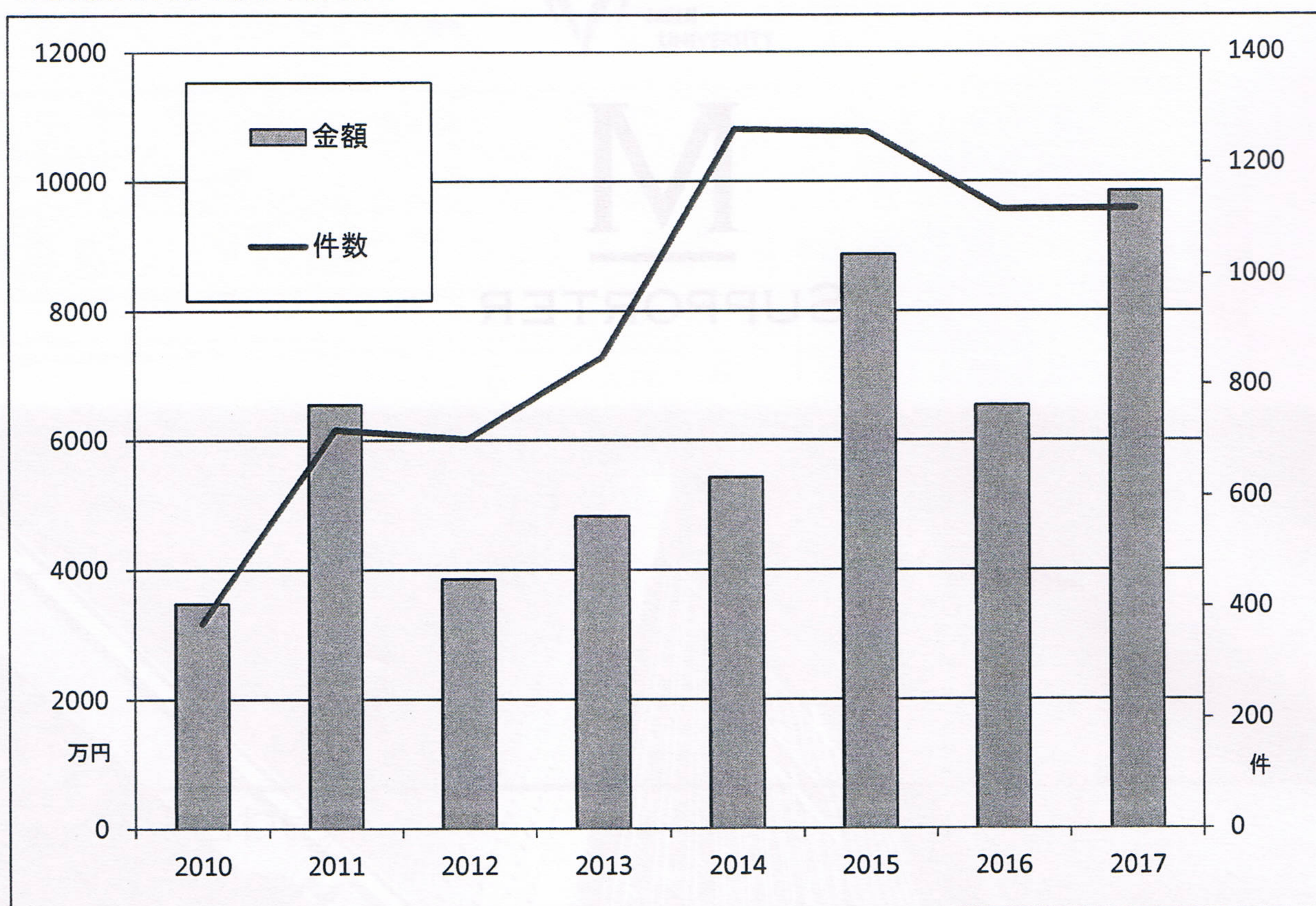
学部	応募者数	採用者数	学部	応募者数	採用者数
法学部	142	21	農学部	108	14
商学部	118	18	経営学部	94	6
政治経済学部	148	16	情報コミュニケーション学部	85	12
文学部	180	18	国際日本学部	88	12
理工学部	171	26	総合数理学部	74	7
			全学部計	1,208	150

■ 奨学サポート資金 寄付受付実績

(金額：万円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	計
件数	369	719	702	849	1,260	1,255	1,116	1,118	7,388
金額	3474	6,547	3,853	4,827	5,432	8,874	6,533	9,847	49,387

<寄付受付実績の推移>



■ 寄付者の方々の声 (寄付の際に頂戴したコメントを掲載します)

- ・明大に入学して卒業して活躍してほしい。
- ・少しでも夢に向かって勉強する学生の支えになればと思います。
- ・学生時代、奨学金に大変助けられました。厳しい経済状況の学生の助けに少しでもなればと思います。
- ・一人でも多くの若者たちが教育の機会を得られるように、微力ながら支援させていただきます。
- ・わずかな額ですが、母校の恩を忘れてはおりません。
- ・生活に困っている有望な学生を助けてあげてください。

感謝のことば（抜粋版）

未来サポーター募金の奨学サポート資金を原資とする奨学金を受給した、「未来サポーター給費奨学生」には、寄付による奨学金をいただいたことに対する「感謝のことば」を提出させ、冊子にまとめ、寄付者の方々にお送りしております。

1・2年生は明治大学に入学した理由、大学生活で挑戦したいこと、3年生は将来の目標・目指す進路を中心に書き、4年生は大学生活を振り返った想いを込めています。

ここで全てをご紹介することはできませんが、寄付に対する学生の感謝とそれに応える気持ちを少しでもお伝えできれば幸いです。

明治大学給費奨学金（未来サポーター給費奨学生）

この奨学金は、経済的理由により修学困難な学部生を対象とした給費奨学金（返還不要）です。授業料年額1/2相当額を給付します。

これは、2010年度に創設された「明治大学未来サポーター募金」のうち、「奨学サポート資金」への寄付金から支給されます。本学校友・ご父母・法人企業様など、諸先輩からの温かいご支援が原資となっています。



この度は、未来サポーター給費奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。母子家庭で、兄と妹も学生であるためアルバイトの掛け持ちなどで生活をやりくりするのにとても苦労していました。そんな中、このような温かい御支援をいただけることに、本当に感謝します。自分が、地方から明治大学に入学したいと思った理由の一つは、スポーツが非常に盛んだからです。仲間と一体となり、熱く自身の学校を応援できるような環境は数々なく、この事ほど魅力的なことだと思えます。大好きな野球をはじめ、ラグビーや駅伝などで明治大学が優勝、日本一になる瞬間を何となく目に焼き付けたいです。また、自分自身もスポーツ系の体同連という組織に入っており、そこでレギュラーを掴めるように日々練習に励んでいます。学業の面でも、今年中にTOEICで高得点を取ることを簿記二級も取得することと目標に掲げて取り組んでいます。苦しい環境の中、上京させてくれた母親と、寄付以下した方々の感謝の気持ちも忘れず、充実した学生生活を送りたいと思います。

未来サポーター給費奨学生

(商 学部 / 年 福岡 出身)



私は考古学を勉強したいと思い、明治大学に入学し、現在考古学専攻で日本考古学を勉強しています。大学入学以前は家計状況などを考え、アルバイトをして学費をまかなおうと思っていたのですが、大学生活は想像していた以上に大変で、アルバイトをする余裕がなく困り果てていました。この度、奨学金を頂けることになり、学費の心配をしなくてもよくなり、とても感謝しています。私は今遺跡から発掘される古人骨に興味があり、専門の先生のもとで人骨のスケッチや取り扱い方、研究法などについて勉強しています。将来は、古人骨の分野の研究が発達しているイギリスへ留学し、より専門的に学びたいと考えています。そのためにも、考古学や古人骨の勉強だけでなく、英語の勉強にも力を入れて取り組み、留学をする際に困らないだけの英語力を身につけたいと思います。

未来サポーター給費奨学生

(文学部 / 年 愛知県 出身)



両親が私の高校卒業を期に離婚し、家計が先行き不透明となり、私の母は軽いノローゼのような状態になっていました。そのような状態の母を少しでも元気づけたい、少しでも家計を助けたいと思い、この度奨学金を希望しました。奨学金をいただけることが決まり、母に連絡したところ、とても安心して喜んでおりました。本当に、ありがとうございます。私は今、体育会に身を置き、日々勝つために、選手としても人としても強くなるために活動しております。ここに身を置いたのも、両親の離婚を期に、自分は守られるだけでなく、これからは両親を守りたい、そのために強くなりたいたいと思、たからです。今はこの思いと、明治大学を背負い、日本一を目指しています。奨学金をいただけたおかげで、学業にも部活動にも金力を注ぐことができます。本当に、ありがとうございます。

未来サポーター給費奨学生

(政治経済

学部 2年 茨城 出身)



私は今、明大祭実行委員として活動しています。明大祭の価値をより高めていくために仲間と共に日々、話し合いを重ねています。これから11月に向けてさらに活動が忙しくなることが予想されます。しかしながら、私は家庭の事情によりアルバイトをかけることで学費を自分で工面しなければならぬので、委員会活動とアルバイトで勉強をする時間が無くなってしまわないかという不安を抱えていました。そのような状況にある私にとって授業料の半額分の給付は非常に有り難く、お金以上に大きな価値があるものです。このおかげで私はアルバイトの時間を減らして、学業に充てることができそうです。つきましては、自分が奨学生であるという自覚を持ちながら、学業、委員会活動ともに実りあるものにするため、努力していく所存です。この度は、未来サポーター給費奨学生として採用していただきましたことを寄付者の皆様には感謝申し上げます。

未来サポーター給費奨学生

(経営

学部 2年 北海道 出身)



この度は、授業料の半額を給付していただきことになり、本当に感謝の気持ちでいっぱいしております。私の家庭は母子家庭で、大学進学をするにあたり、祖父母の助けを借りています。母や祖父母の負担を少しでも減らしたいと思い、この奨学金に出願させていただきました。この度採用していただいたことで、奨学金を学費に充てることができ、私自身もアルバイトを減らすことでより勉学に集中することができるようになりました。将来は、医療機器を扱うメーカーに就職し、人の命を救う様々な機器の開発に携わりたいと思っています。そのために大学院に進学したいと考え、工学や電磁気学、また論文を読む力をつけるために英語にも力をいれて勉強しています。奨学金を受けて修学させていただいているという感謝の気持ちを忘れずに、これからより一層熱心に勉学に取り組むと思います。この場を機会を与えていただいたことに重ねてお礼を申し上げます。

未来サポーター給費奨学生

(理工 学部 3 年 群馬県 出身)



この度は、未来サポーター給費奨学生として採用して頂き、ありがとうございます。現在、学費を自分でやりくりしています。今回の奨学金は、全て学費に充てることができ、本当に助かりました。感謝して申し上げます。昨年の春、父が闘病の末、急逝し、家計を更える存在を失ってしまいました。その当時、弟は中学生で、また母は数年前の胃の手術以来、体調が優れず、何より精神的に追い詰められていた。とにか、生きていかなければならない、お金を工面しなくてはならない、様々な手続きを含め、家のことを片づけなくてはならないなど、家族全員が、色々なことに追われている、そんな状態でした。私が父に代わって弟を育て、母を育てていかなければなりません。この明後学では、研究室活動等を通して、自分を経営する力、正しい選択をする力を養成したいです。将来は、この大学で学んだ者として社会に貢献できる、人思いの心のできる人間になつていきます。そして今度は自分のような境遇の人たちを支援してあげたいです。温かい御支援を賜り、本当にありがとうございます。

未来サポーター給費奨学生

(農 学部 3 年 群馬県 出身)

4年間のあゆみ (法学部 4年 福岡県出身)

明治大学に入学を決めた理由, 1年次で取り組んだこと

法学を学びたいという思いがあったため、明治法津学校が前身であり、法学に力を入れている明治大学に入学を決めました。1年次では、勉学に力を入れ、取り組みながら、飲食店でのアルバイトにも取り組みました。

2年次で取り組んだこと

1年次に引き続き勉学やアルバイトに力を入れ、取り組みつつ、落語研究会に入部しました。落語研究会では、文化祭での寄席の開催や、企業や自治体の方々から依頼を受け、イベントに出演する等といった活動を行いました。

3年次で取り組んだこと

3年次からはゼミナールに所属し、法律について深く学びました。法学を学ぶことで、明確な答えのない問題に対して、より妥当な解決策を考える力や、論理的に物事を考える力を身に付けることが出来ました。

4年次で取り組みたいこと, 取り組んでいること

4年次では、就職活動に全力で取り組みました。私は大学生活の中で、『より多くの人々の生活を豊かにし、社会貢献したい』と思うようになりました。その思いから、企業選びを、結果的に第一志望の企業に内々定を頂けることが出来ました。

将来の目標・目指す進路

私は来年度からインフラ系の企業に入社する予定なのですが、そこでは、将来の経営を担うことが出来るような人間になりたいと思います。そのために、日々全力で業務に打ち込むことと、誰に対しても誠実であることを心がけたいと考えております。

寄付者の皆さまへ 感謝の気持ち

寄付をしてくださった皆さま、4年間本当にありがとうございました。皆さまのお陰で、本当に充実した大学生活を過ごすことが出来ました。言葉には表せないほど感謝の気持ちで一杯です。今後も、この御恩を忘れず、立派な社会人となり、社会のために尽力して参りたいと思います。

